

## 第9回独立行政法人農林漁業信用基金漁業災害補償関係業務運営委員会 議事概要

### 1 日時及び場所

- (1) 日時 令和2年2月25日(火) 13時00分～14時02分
- (2) 場所 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル11階  
独立行政法人農林漁業信用基金 第3・4会議室

### 2 出席者

#### (1) 運営委員

出資者：古寺委員、仲委員、成田委員、畠山委員、本多委員  
学識経験者：上竹委員、亀田委員、竹田委員、山下委員

(出資者・学識経験者別 五十音順)

#### (2) 信用基金

今井理事長、森島副理事長、深水総括理事、小林理事、伊佐理事

#### (3) オブザーバー(主務省)

芳之内水産庁漁政部漁業保険管理官管理官補佐

### 3 提出議案

- (1) 令和2年度年度計画(案)について
- (2) その他

### 4 議事経過の概要及びその結果

議事に入る前に、運営委員の互選により山下委員が委員長に選出された。委員長は古寺委員を委員長代理として指名した。

引き続き議事に入り、上記3(1)の議案について信用基金から説明がなされた後、審議が行われ、原案どおり承認された。

また、上記3(2)において、古寺委員から漁業共済事業と漁業収入安定対策事業の現状と当面の課題について説明がなされた後、出席者の間で意見交換が行われた。運営委員からの主な質問等は以下のとおり。カッコ内は、これに対する信用基金の説明。

#### 【質問等】

#### (1) 令和2年度年度計画(案)について

- 原案どおり承認。

#### (2) その他

- 全国漁業共済組合連合会においては、再共済金の支払いに充てる国からの保険金が不足しており、今年度中にも信用基金から再共済金の支払原資を5億円程度借り入れる可能性があるとの発言があったが、信用基金は必要額を貸し付けることが可能なのか。

( 全国漁業共済組合連合会に対しては、最大で約166億円の貸付けが可能である。)

以上